

# 島根県の地震

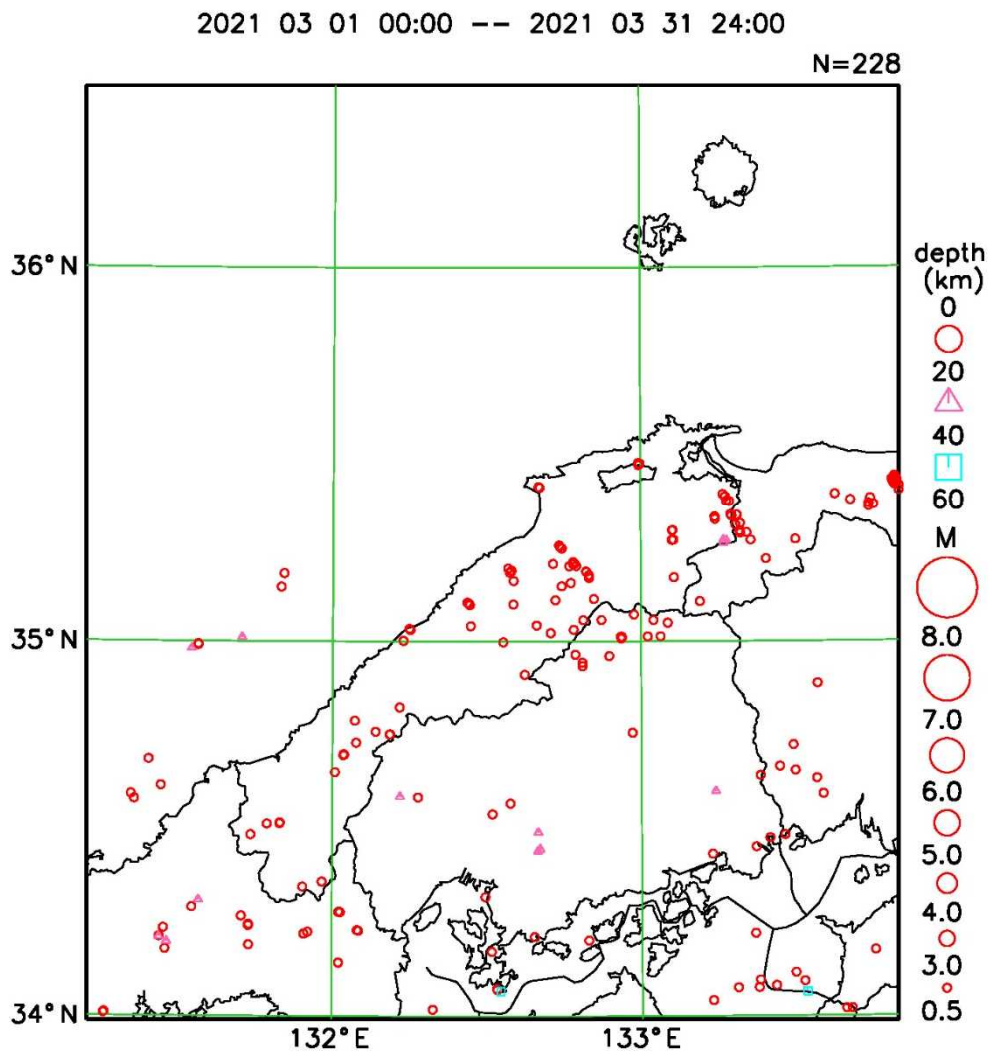
令和3（2021）年3月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

## 島根県およびその周辺地域の地震活動 2021年3月1日～31日

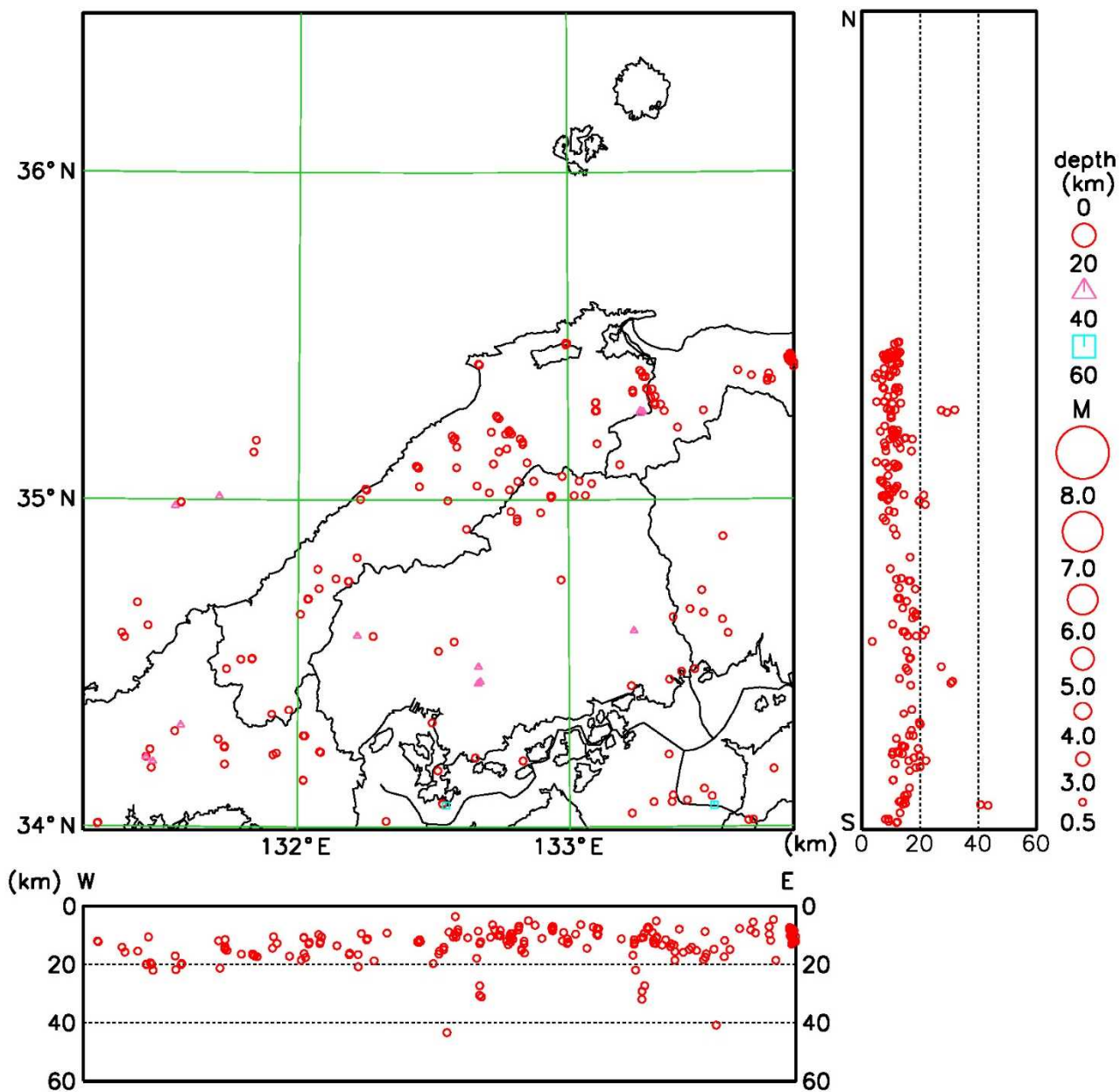


### [概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は228回（2月は206回）でした。  
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、ありませんでした。

[断面図]

2021 03 01 00:00 -- 2021 03 31 24:00



## 2020年度後期(10月～3月)に島根県で震度1以上を観測した地震

2020年度後期(10月～3月)に島根県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は、7回でした。

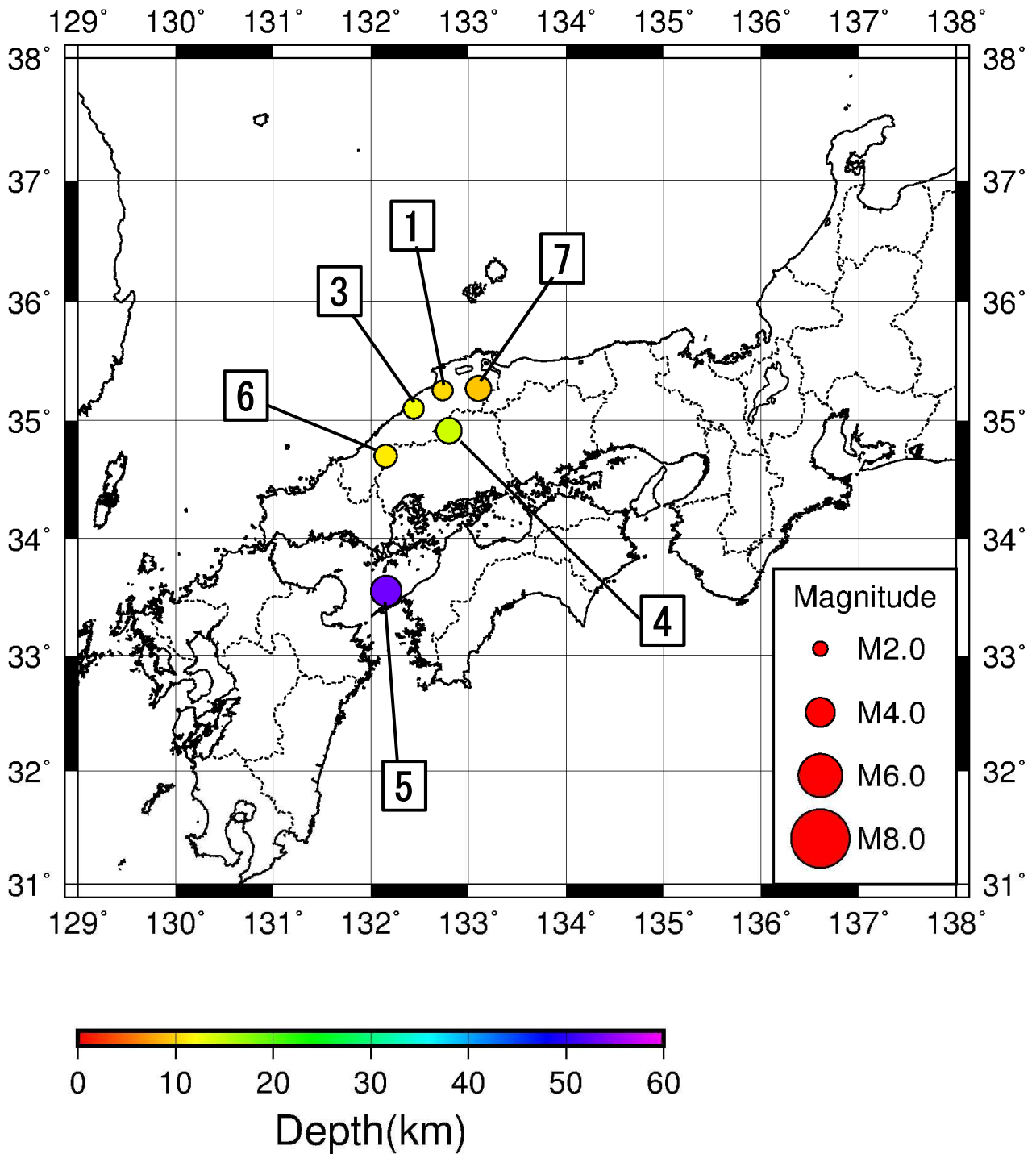
[表1] 2020年度後期(10月～3月)に島根県で震度1以上を観測した地震の月別回数

	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7

[表2] 2020年度後期(10月～3月)に島根県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震と観測点の震度

No.	震源時年月日時分	震央地名	北緯	東経	深さ	M <sub>g</sub> - $\mu$ -T <sup>o</sup>
1	2020年11月07日04時59分	島根県東部	35° 15.2' N	132° 44.2' E	10km	M2.8
		島根県 震度 1 : 雲南市掛合町掛合*, 雲南市三刀屋町三刀屋*				
2	2021年02月13日23時07分	福島県沖	37° 43.7' N	141° 41.9' E	55km	M7.3
		島根県 震度 1 : 大田市仁摩町仁万*				
3	2021年02月19日01時12分	島根県西部	35° 06.0' N	132° 26.4' E	13km	M2.8
		島根県 震度 1 : 大田市仁摩町仁万*, 大田市温泉津町小浜*, 川本町川本*				
4	2021年02月21日00時06分	広島県北部	34° 54.7' N	132° 48.0' E	14km	M3.5
		島根県 震度 2 : 邑南町下口羽* 震度 1 : 飯南町下赤名*, 川本町川本*, 島根美郷町都賀本郷*, 邑南町瑞穂支所*				
5	2021年02月23日16時08分	伊予灘	33° 33.1' N	132° 09.5' E	53km	M4.2
		島根県 震度 1 : 益田市常盤町*, 吉賀町六日市*				
6	2021年02月25日01時12分	島根県西部	34° 41.9' N	132° 09.1' E	11km	M3.1
		島根県 震度 1 : 浜田市三隅町三隅*, 益田市美都町都茂*				
7	2021年02月28日09時40分	島根県東部	35° 16.2' N	133° 06.2' E	9km	M3.5
		島根県 震度 2 : 松江市八雲町西岩坂*, 奥出雲町横田* 震度 1 : 松江市玉湯町湯町*, 松江市東出雲町揖屋*, 松江市宍道町宍道* 安来市伯太町東母里*, 雲南市大東町大東, 雲南市掛合町掛合* 雲南市三刀屋町三刀屋*, 雲南市加茂町加茂中*, 雲南市吉田町吉田* 奥出雲町三成*				

注 : \* は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。  
: 震央分布図(4ページ記載)には最大規模の地震のみ吹き出しを表示しています。



[図 1] 2020年度後期(10月～3月)に島根県で震度 1 以上を観測した地震の震央分布図

注：図 1 中の番号は、前項の表 2 に記載されている地震と対応しています。  
 また表記の都合上、古い震央の上に新しい震央が重なってしまう場合があります。  
 その場合、震源の深さは前項の表 2 をご参照ください。

## 推計震度分布図

推計震度分布図は、震度計で観測された震度をもとに、地表付近の地盤の増幅度（地表付近における揺れの増幅を示す指標）を使用して1km四方の格子間隔で震度を推計し、震度計のない場所も含めて震度を面的に表現したものです。原則として全国で震度5弱以上を観測した地震について提供しており、2018年4月9日に発生した島根県西部の地震（最大震度5強）でも提供しています。

図を活用する場合、大きな震度の面的な拡がり具合やその形状に着目することが重要です。また、推計された震度の値は、場合によって1階級程度異なることがあります。

また、図1のように震央を示す「×」の場所が地上での一番大きな揺れと一致していないこともよくあります。どの地域が大きな揺れになったかを把握する際には、「×」の位置にこだわることなく推計震度分布図をご活用ください。

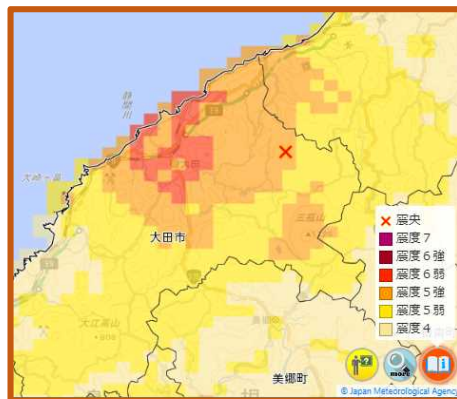


図1 2018年4月 島根県西部の地震  
震央「×」の西側に、大きな揺れの領域が推定されている。

推計震度分布図は、地震後20分程度で気象庁ホームページから提供します。

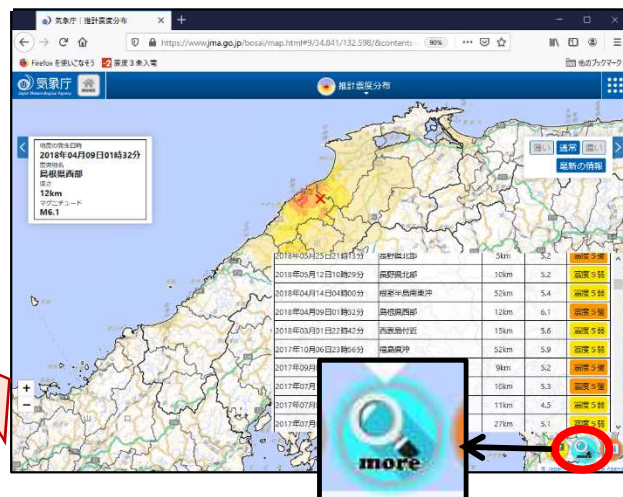
トップページ <https://www.jma.go.jp/>



防災情報



推計震度分布図



最新の地震が表示される。  
右下「more」ボタンで過去の地震が  
選択できる。